

台タブレット端末を整備することについて、来年度以降のランニングコストを2億円と想定しているが、税収減が想定され、より一般財源を拘束してしまう。国にランニングコストの補助制度創設を求めるべきだ。

**議員** 自治体間で教育格差が生じることがないよう、国や都に対し補助拡充を要望しており、当該整備についても既に要望した。

**〈その他の質問〉** 臨時財政対策債/庁舎等建設基金の積み替えについてなど



都民ファーストの会 山田さとみ 幹事長

### 感染症拡大防止対策と同時に先を見据えた施策を



**議員** 新型コロナウイルス感染症で保護者が入院した子どもや在宅高齢者等への弁当宅配事業においては、配達先の様子を見て支援の必要性を感じた際に、地域包括支援センターにつなげるような見守り機能を付すべきだ。また、本事業を活用し、市の様々な課題を解決する方策を検討すべきだ。

**市長** 配達員に支援等の仕組みを理解してもらい、必要に応じて関係機関につなげるよう取り組みたい。また、アフターコロナを見据えた様々な取り組みも今後提案していきたい。

**議員** 学童保育所では「安心でんじょほ」という連絡メールやアンケート機能を持ったシステムを導入され、コロナ禍において情報交換に役立ったと聞く。市内保育園でも同様のシステムを導入すべきだ。



つなぐ二鷹の会 成田ちひろ 幹事長

### コロナ後の教育・子育ての充実に向けて



**議員** 臨時休校中の家庭学習を把握する中で見えた課題について伺う。

**教育長** 学習への集中や意

欲、理解などの課題があったと認識している。今後は児童・生徒の学習状況を丁寧に把握し学習内容の定着を図っていききたい。

**議員** オンライン学習の今後の実施について伺う。

**教育長** オンラインで学習した時間や内容を学校でも把握できる仕組みを活用し、再度休校になった場合に備え、児童・生徒一人に1台配付するタブレットにより双方で授業ができるよう支援したい。

**議員** 臨時休校明けの出席の取り扱い、今後タブレットの導入に伴い想定されるオンラインでの登校について考えを聞く。

**教育長** 新型コロナウイルス感染症予防のため保護者の判断で出席を控えた場合は欠席とはならない。オンラ

インでの出席については、今後の課題として検討していく必要があると考える。

**議員** 中止が長期化する産前産後事業のオンライン実施の検討状況を問う。

**健康福祉部調整担当部長** ゆりかご面接等のオンライン実施を検討している。

**議員** 緊急事態宣言中、子育て中の保護者から肩身の狭い思いをしたとの声を聞いた。このような声は家庭内に吸収されてしまう。家庭内へ吸収されている声の把握について考えを聞く。

**市長** 必ずしも全ての声が市に届いているわけではないと認識している。今後市民の声が少しでも市政に反映できるよう努めたい。

**〈その他の質問〉** 緊急事態宣言中における保育園での取り組みについてなど

## 一般質問

6月5日の本会議で、5人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。



日本共産党 前田 まい 議員

### 地域子育ては公立保育園が核となり支援せよ



**議員** 昨年度、市内の私立認可保育園で行事が説明なく変更・不実施とされた。理由の把握状況を伺う。

**子ども政策部調整担当部長** 当該園への聞き取りにより把握している。変更等の際は保護者に理由も含め丁寧

に説明するよう助言した。

**議員** 本年度より開始した医療的ケア児の保育受け入れの要件は医療的ケア3つと限定的でニーズに答えきれていない。看護師の追加配置による拡充を求める。

**市長** 他の医療的ケアの必要性も認識している。段階的拡充に向け取り組む。

### 市民の命と暮らしを守る生活保護制度を



日本共産党 紫野あすか 議員

**議員** 生活保護制度は、健康で文化的な最低限度の生活を保障する生存権を実践的に行う制度だが、市民にとって身近なものになっていないと考える。この制度に対する考え方を伺う。

**市長** 経済的に困った時には、躊躇することなく福祉事務所へ相談されるような制度であるべきと考える。

**議員** 生活保護制度が市民にとって利用しやすいものとなるための改善や工夫の検討状況について伺う。

**健康福祉部調整担当部長** 申請に対してためらいを感じるようなような周知の在り方を引き続き研究していく。

**議員** 小田原市では、生活保護制度の利用は命と暮らしを支える権利を行使することだと意識改革をしている。制度に対する言葉や意識の改革について伺う。

**健康福祉部調整担当部長** 国民全員に受給する権利があり、今ある制度の中で支援を受けられる人に、支援が届くような形で伝えていきたい。

### 敗戦後75年、非核・平和事業の更なる推進を



いのちが大事 嶋崎 英治 議員

**議員** 市民に仙川平和公園として親しまれている公園のアンネ・フランクのバラが引き抜かれていたことについて所見を伺う。

**市長** 誠に残念なことだ。平和の願いを次世代に伝えていくための一環として、高山小学校のアンネのバラの枝分け等を調整中だ。

**議員** 仙川公園の名称変更について進捗状況を伺う。

**企画部長** 平和への願いを次世代に継承していくという思いを込めたものにする

方向で検討している。

**議員** 小・中学校の授業における仙川公園の平和モニユメント活用状況を伺う。

**教育長** 三鷹に息づく平和への願いという単元を設定し授業でアンネのバラや平和像等を活用している。

**議員** 8月6日、9日、15日に仙川公園で平和祈念事業を企画してはどうか。

**企画部長** 猛暑であることが多いため事業は困難だ。

**〈その他の質問〉** 安全な水の確保について

### 市庁舎は報告書に基づき改修を 駅前再開発の中止を



いのちが大事 伊沢けい子 議員

**議員** 三鷹市庁舎・議場棟等劣化診断調査報告書には劣化診断の詳細な調査結果とともに、長寿命化させる場合の改修計画の方法と費用が詳細に示されている。本年3月の市議会特別委員会で改修計画について報告がなかった理由を伺う。

**市長** 委員会では客観的なデータに基づく劣化調査の結果を中心に報告した。

**議員** 市庁舎等の劣化診断を実施したことは評価する。劣化診断と併せて改修

判断していきたい。

**議員** 計画の作成を外部委託した意図について伺う。

**まちづくり総合調整担当部長** 市として今後、改修計画を検討する上での1つの材料としたという観点から依頼した。

**議員** 令和4年度末までに三鷹駅前再開発事業の都市計画決定を行うという目標は今も変わりのないのか。

**市長** 都市計画決定の時期については一定の目標を持ちつつ、しっかりと慎重に

### 市民のいのちと未来を守る まちづくりを



いのちが大事 野村 羊子 議員

**議員** 気候非常事態宣言を発し、気候危機に対応する姿勢を明確に示すべきだ。

**市長** 宣言は考えていない。本市の環境に関する諸計画を充実させたい。

**議員** 公共施設の使用電力の調達を再生可能エネルギー由来に転換すべきだ。

**生活環境部長** 入札要件で再生可能エネルギー導入状況等を評定し、環境に配慮した調達に努めている。

**議員** 小水力発電や地熱発電等、再生可能エネルギー

の技術革新が進んでいる。本市で実現可能な活用方法を事業者から募るべきだ。

**生活環境部長** 住宅都市の本市では設置が難しい。新提案があれば検討したい。

**議員** 外環道工事で野川から酸欠ガスが噴出した。トンネル直上の住民等の安全を担保する科学的な説明を事業者にさせるべきだ。

**都市再生部長** 安全だと聞いているが、市民等の安全安心が最も大切なので、丁寧な情報提供を求めたい。

三鷹市議会では、インターネットによる本会議の生中継と録画中継の配信を行っています。代表質問・一般質問の模様は、市議会ホームページ（一面題字下参照）もしくは各議員タイトル欄の二次元バーコードからご覧いただけます。